さようなら戦争・さようなら原発
9.19大集会

日時　2022年９月19日（月・祝）13：30～
場所　代々木公園　野外ステージ
内容　主催者挨拶・立憲野党連帯挨拶
　　市民団体からの発信ほか・集会後デモ行進

自治労茨城

水戸市桜川 2-3-30　自治労茨城県本部
Ｅメールアドレス kenhonbu@j-ibaraki.jp
編集発行人 ＝ 千　歳　益　彦
毎　月　５　の　日　発　行
定　　価 ＝ １部５円（組合費に含む）
印 刷 所 ＝ コトブキ印刷株式会社

自治労茨城県本部 第122回定期大会

2022年９月28日（水）13:30～

ひたちなか市
那珂湊総合福祉センター（しあわせプラザ）

［報告］　一般経過報告
　　一般会計及び特別会計報告、政治活動報告
［議案］　2023年度運動方針（案）
　　当面の闘争方針（案）
　　2023年度一般会計及び特別会計予算（案）
　　第５次組織強化・拡大のための推進計画（案）
　　規程の一部改正について（案）

感染対策を講じたうえ、短縮日程で開催します

単組代表者会議で委員長あいさつを聞く出席者

報告内容　人事院勧告
　　定年引き上げ制度への取り組み

協議事項　自治労本部第96回定期大会の議案概要と臨むにあたって
　　住まいる共済次期制度改定

単組代表者会議

人事院勧告の完全実施めざす
本部大会は方針賛成で臨む

県本部は、８月24日に自治労会館で単組代表者会議を開き35人が参加する中、８日に出された人事院勧告や定年引き上げ制度導入にむけた取り組み、自治労本部第96回定期大会にあたっての県本部の態度について議論しました。

冒頭、千歳委員長があいさつし、参議院選挙での自治労組織内「鬼木まこと」当選の各単組からの支援御礼と、10月11月期の賃金確定闘争は、人事院勧告の完全実施はもとより組合員の要求実現を図るため早めにスタートさせ丁寧に取り組む必要があるとしました。

また、報道にもある常陸太田市公共下水道整備事業の対応に伴う全職員の給与減額措置提案では、当該市職・ブロック・県本部が闘争委員会を設置し交渉している経過について触れ、単組が日頃の活動を丁寧に積み上げていくことで組合員からの信頼が得られ、困難な局面でも団結して取り組むことができると活動の重要性を訴えました。

報告では、生井澤書記長が８月８日に出された人事院勧告では月例給平均０・３％、一時金０・10月と３年ぶりの引き上げとなったこと、中央での要求・交渉経過など人勧期をめぐる状況を説明しました。

定年引き上げ制度の導入について、県内では９月議会、12月議会上程予定の自治体が多い状況から、引き続き組合が当局と協議を重ね、誰もが安心して働き続けられる制度としていく必要があるとしました。

協議事項では、①自治労本部第96回定期大会の議案概要と臨むにあたっての県本部態度について、県支部の花岡事務局長から②住まいる共済の次期制度改定を提案しました。

８月30日、31日に千葉市で開催される自治労本部定期大会には、秋季・自治体確定闘争をはじめとした当面の闘争方針などの審議内容について、県本部は本部方針に賛成の立場で臨むとしました。

火災共済・自然災害共済「住まいる共済」の次期制度改定については、自然災害共済の掛金引き上げなど次期制度概要ポイントと今後の進め方、単組での組織討議を提案しました。

質疑応答のあと、いずれの議案も拍手多数で承認されました。

組合員とつながり意識し 組織を強化していく
第96回定期大会

自治労は第96回定期大会を８月30日、31日に千葉市の幕張メッセで開き、向こう１年間の運動方針などを決定しました。

大会は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み対面とウェブのミックス形式で開かれ、県本部代議員は対面４人、水戸市の自治労会館から８人が出席しました。

川本中央執行委員長はあいさつで、参院選に対する取り組みで鬼木まこと当選を果たしたものの目標票数には及ばず、組合への名前の浸透が不十分であったとし、私たちの職場は政治が大きく影響することから日ごろの組合活動を強化していく必要がある。３年ぶりに引き上げとなった人事院勧告や定年引き上げ制度導入による60歳前後の給与制度底上げなど奮闘する組合員にこたえるためにも、労働組合が職場の課題を丁寧に解決していき、労働条件改善とともに地域公共サービスの維持・発展をめざそうと訴えました。

来賓には、連合の芳野会長、立憲民主党の泉代表が駆けつけ、激励と連帯あいさつを受けました。

大会では、経過報告と報告に関する質疑討論と承認が行われました。議案では、第１号議案「当面の闘争方針」、第２号議案「２０２３年度一般会計・特別会計予算」、第３号議案「自治労会館の中長期方針および大規模修繕計画」が提案されたあと、各県本部からの発言があり、執行部の答弁後の採決ですべての議案が圧倒的多数で承認されました。

各県本部の発言は、参院選総括と統一自治体選挙への決意、組織強化拡大の取り組み、定年引き上げについての対応、人員確保闘争、確定期にむけた取り組みなどがありました。

あいさつする川本中央執行委員長

千葉市で開かれた自治労第96回定期大会

視覚障害その他の理由で活字のままでこの本を利用できない人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等の製作をすることを認めます。その際は著作権者、または、出版社まで御連絡ください。

老朽化する東海第二原発
再稼働加速にストップ

岸田首相は8月24日のGX実行会議において、脱炭素社会の実現にむけて原発の新増設と来年夏以降に複数の既存原発の再稼働を加速させるよう関係省庁に指示しました。この既存原発の中には東海第二原発も含まれます。

東海第二原発は1978年から営業運転を開始し、今年で44年が経過し老朽化しています。首都圏に一番近い原発立地であり、ほかの原発に比べ周辺の人口密度も非常に高く、原発30キロ圏内には94万人が居住しています。さらに、30キロ圏内の自治体には実効性のある避難計画の策定が求められていますが、策定は困難を極めています。

STOP!!東海第二原発 再稼働大集会を開く

8月27日、東海第二原発の再稼働反対を訴える「STOP!!東海第二原発の再稼働茨城大集会」が水戸市の駿優教育会館で開かれ、県内外から約450人、自治労からは28人が参加しました。

集会では、連帯あいさつにルポライターの鎌田慧さんが登壇。東海第二原発差し止め訴訟弁護団共同代表の海渡雄一さんも講演しました。

福島県新地町の漁師の小野治夫さんは、福島第一原発の処理済み汚染水の海洋放出について「魚は声を出すことはできない。魚の住む豊かな海を守る漁師の立場から反対の声をあげる。閣議決定により汚染水を海洋放出すると決めたことには世論でしか抵抗できない」と訴えました。

もし原発の事故が起きれば、大地と海洋の汚染が引き起こされ、私たちの生活は喪失してしまいます。再び福島のような原発事故を起こしてはなりません。安全で安心できる社会を未来へつなげていかなければなりません。

集会最後には、来夏以降に原発再稼働をめざすことなどが盛り込まれた新たな政府方針への抗議文を採択。集会後に予定していた水戸市内のデモ行進は、感染拡大のため中止されました。

GX実行会議　産業革命以来の化石燃料中心の経済・社会、産業構造をクリーンエネルギー中心に移行させ、経済社会システム全体の変革、すなわち、GX（グリーントランスフォーメーション）実行にむけた会議。

水戸市内で開かれたSTOP!! 東海第二原発の再稼働いばらき大集会

ニュース・ワード

ガクチカ

「学生時代に力を入れたこと」を略した言葉。大学生が就職活動やインターンシップへの応募に当たって企業側に提出するエントリーシートや面接で、志望動機や自己PRとともに自分をアピールする項目です。企業は人柄を見る材料にするなど重視する傾向にあるため、ガクチカの書き方などを助言する就活サイトもあります。

ただ、これから就職活動を迎える現在の大学3年生は入学時に新型コロナの緊急事態宣言が初めて出された世代。従来のようなゼミ活動やサークル活動、アルバイト、留学などができなかったため、ガクチカとしてアピールできるエピソードが少ないことに悩む学生が多いといわれます。

線状降水帯

次々に発生した雨雲（積乱雲）が帯状に連なって通過したり停滞したりすることにより、ほぼ同じ場所に数時間にわたって強い雨を降らせる現象。長さ50～300キロメートル、幅20～50キロメートルほどの雨域になります。2018年7月の西日本豪雨や、20年の九州豪雨など、毎年のように甚大な被害をもたらしています。

気象庁は今年6月から、線状降水帯が発生する恐れがある半日ほど前に予測情報を発表する運用を開始。7月中旬に2回発表しました。精度はまだ高くないとされますが、予測情報や自治体のハザードマップなどを生かして、積極的に命を守る行動をとることが求められています。

自治労水週間塗り絵コンクール
優秀作品に5人を決定

8月の自治労水週間は、水環境の保全、健全な水循環と水の公共性や公営運営を住民に広く訴える取り組みです。この取り組みに合わせ公営企業評議会が実施していた「塗り絵コンクール」は、県内から多くの作品が集まりました。

8月26日、県公営企業評議会幹事会で選考を行い、県本部優秀作品にこどもの部4人、おとなの部1人を決定しました。

これらの作品の中から常陸太田市職の木村おとさんの作品を使ってノベルティグッズを作成。新型コロナウイルス感染拡大により今年の開催を見送った「水辺のつどい」の代替に、ノベルティグッズを配布し、水の大切さを周知する予定です。

塗り絵を選考中の公営企業評議会幹事

優秀作品受賞者

こどもの部
- 木　村　お　と（常陸太田市職員組合）
- 東ヶ崎　仁　菜（茨城町職員労働組合）
- 阿　南　皓　久（水戸市職員組合）
- 西　村　曖　里（常陸大宮市職員組合）

おとなの部
- 渡　邊　友紀子（常陸大宮市職員組合）